

藤井 最年少二冠

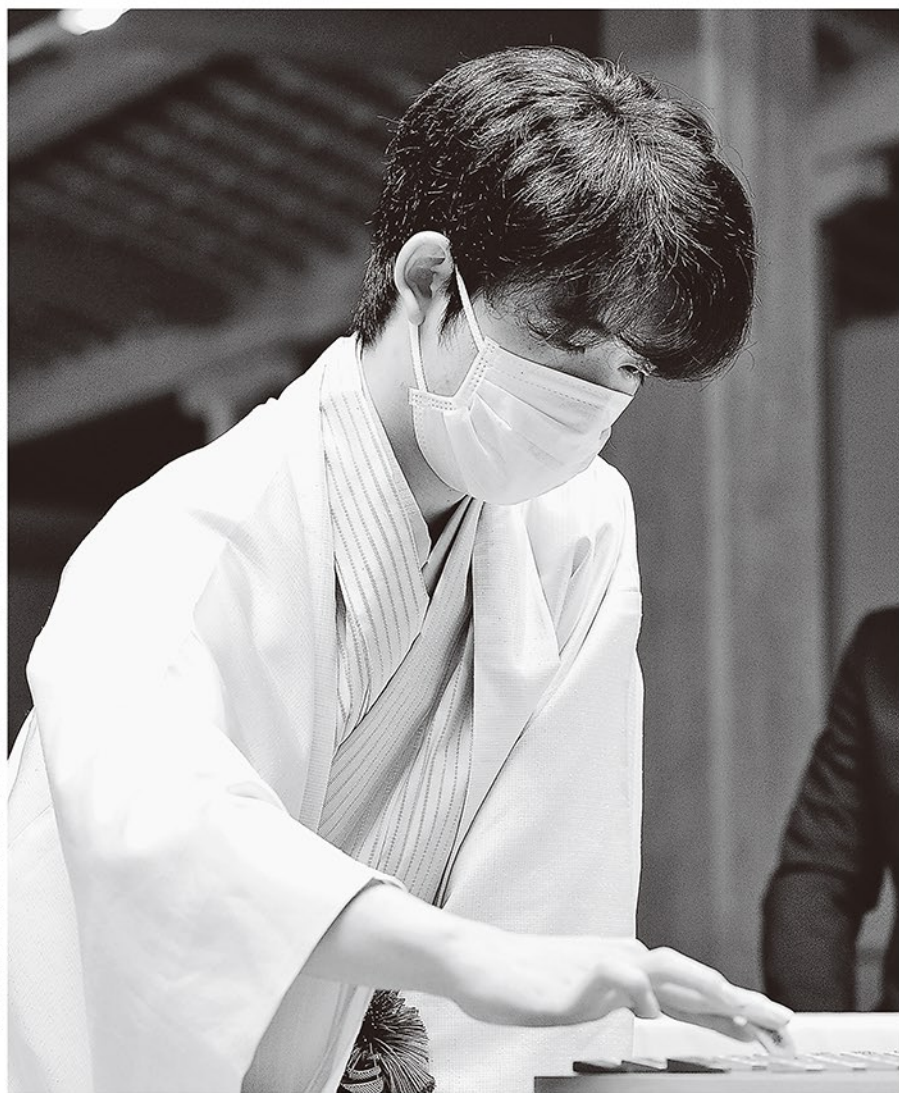
王位奪取、18歳1カ月

将棋の藤井聡太棋聖(18)は20日、福岡市で指された第61期王位戦7番勝負(神戸新聞社主催)の第4局で木村一基王位(47)を破り、4連勝で奪取、最年少の18歳1カ月で二冠となった。

より、最も若く八段に昇段した。高校生棋士が棋聖戦に続いてタイトル戦を制し、棋界の頂点に向けてさらに前進した。2020年度は残る王将を獲得すれば、三冠となる。

これまで最も若い二冠は1992年、羽生善治九段(49)が作った21歳11カ月。最高の九段に次ぐ八段昇段は58年、加藤一二三・九段(80)が作った18歳3カ月で62年ぶりの更新となった。

藤井新王位は愛知県瀬戸市出身の高校3年生。16年、14歳2カ月の最年少でプロ入り。17年6月には最多の29連勝を樹立した。今年7月16日、最も若い17歳11カ月でタイトルを奪取した。



第61期王位戦7番勝負第4局で木村一基王位との2日目の対局に臨む藤井聡太棋聖
20日午前、福岡市(日本将棋連盟提供)